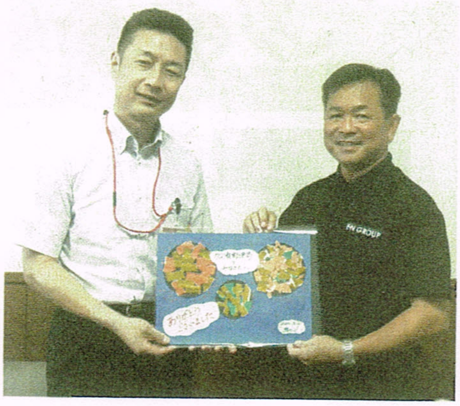
福祉施設利用の児童が訪問

加須郵便局（埼玉県）夏休み見学学習

福祉施設の児童ら30人が夏期見学学習の一環として、8月9日に埼玉県の加須郵便局（片平弘二局長）を訪れた。加須郵便局にとって障がい者の訪問受入れは初めてのこと。児童らは、書状自動押印機の性能に驚きの声を上げるなど、見学を大いに堪能した様子だった。

福祉施設を運営するのは株式会社縁グループ。縁グループは「子供たちの幸せを願って」を合言葉に、東京・埼玉・神奈川・千葉・群馬の計28施設で、放課後等デイサービス・児童発達支援事業所を運営している福祉事業会社。代表取締役を務める、日本郵便OBの加藤満広さん（元・舞岡駅前郵便局長）が夏休み見学学習を企画。加須郵便局をはじめ3局が見学を受け入れた。


プレゼントされた切り絵を手にする片平局長㊧と加藤社長

初めて目にするものばかりで興味津々

片平局長は「これまで幼稚園児や小学生の見学を受け入れてきた。『一生懸命働いてくれてありがとう』といった絵手紙メッセージなどをいただき励みになっている。手紙文化を推奨するうえでも、心の繋がりを伝えたい」としたうえで「障がい者の皆さんを受け入れるのは初めてのこと。少しでも郵便局というものを分かっていただければ幸い」と語った。

10時半から局舎の会議室で開会式が行われた。引率の先生の合図で一斉に「よろしくお願いします」と元気よくあいさつ。片平局長が「今日は、郵便局でどのような仕事をしているのかを軽い気持ちで見て行ってください。よろしくお願いします」とあいさつした。

木村栄総務部長がスケジュールを説明した後、郵便物の差し出しから受け取りまでを解説するビデオを鑑賞した。

鑑賞後に2班に分かれて局舎内の見学を実施。見学したのは、郵便部、集配営業部、バイク置き場、窓口。消印の説明にうなずく利用者の皆さん。高速処理する書状自動押印機の性能を目の当たりにした利用者は「すごーい」「やったー」と驚きの声を上げた。

バイクの荷重の説明の後、電動バイクを見学。中田浩二集配営業部総括課長は「皆さんの家にコンセントがありますが、そこで充電できます」と説明し、電動バイクのエンジンを掛けると「音がしない。本当だ」といった感想が聞こえた。

見学を終えて会議室に戻り、木村総務部長が「どうでしたか」と尋ねると「楽しかった」と元気に応じた。

質問タイムでは3人の利用者が「配達場所を間違えることはないのですか」「1日何件の郵便物が届きますか」など疑問に感じたことを尋ねた。中田総括課長らが分かりやすく丁寧に回答すると、うなずく場面も見られた。

閉会後、引率の先生が「今日1日楽しかった人」と尋ねると全員が「はーい」と応じた。「その気持ちを伝えましょう」との掛け声で利用者3人が前に移動し、皆で一生懸命に作った手作りの切り絵を木村部長ほかに手渡した。そして、利用者全員が「ありがとうございました」と心を込めてお礼を伝えた。

（月曜日）

通信文化新報

発行所
株式会社通信文化新報
〒101-0054
東京都千代田区神田錦町 2-5-1
大晃ビル 2F
電　話　(03) 3219-6213
FAX　(03) 3219-6000
Eメール
shinpou@tsushin-bunka.co.jp
URL
https://www.tsushin-bunka.co.jp
振替口座　00150-3-484473

年間 8,800 円
（税・郵送料込み）

あの日の郵政事業

9 September

▽平成15年（2003）9月1日＝日本郵政公社東京支社（岡田克行支社長）は千代田・港区の集配普通局保険課を統合、簡易保険営業エリアの広域化を開始。営業職員を東京中央郵便局（相馬正尚局長）、麻布郵便局（佐藤知昭局長）に集約、ニーズ把握や営業、事務の効率化を図った。東京中央郵便局では團宏明副総裁が出席して出発式。

巡り

(214)

神戸市は兵庫県の南東部に位置する県庁所在地で、1889（明治22）年に市制を施行した。南は神戸港や明石海峡大橋、北は六甲山地や有馬温泉などがあり、観光名所や史蹟が多い。人口は約152万人で関西圏では大阪市に次ぐ。

有馬温泉は、六甲山の北にあり日本書記にも記述されていて愛媛県の道後温泉、和歌山県の白浜温泉と並ぶ日本三古湯の一つで、太閤・秀吉の愛した関西の奥座敷。風情あふれる温泉街の湯本坂には、室町時代の1559年創業の川上商店がある。伝統の味を守り続けて有馬名物の松茸昆布や有馬山椒の佃煮などを取り扱っている老舗で、趣のある外観に赤い丸型ポストが映えている。

（撮影：平成21年8月8日）

早期訓

強盗対

広島中央

広島中央郵便局（
欣也局長）は、金融機
を狙った強盗事件が後
絶たないことから、強
対応に対する社員の意
醸成を図るため、7月
日に強盗対応訓練を実
した。

この
れる事